

事業所名

運動・学習療育アップセンター南

支援プログラム（参考様式）

作成日

6年

11月

1日

法人（事業所）理念	集団生活の中で生きる力を身につけさせる														
支援方針	指定児童発達支援及び放課後等デイサービスの提供に当たっては、障害児が日常生活における基本動作を習得し、及び集団生活に適応することができるよう、当該障害児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとする。														
営業時間（単位1）	平日 学校休業日	14 10	時 0	分から 18 16	時 15 00	分まで	営業時間（児童発達支援）	10	時	0	分から	17	時	0	分まで
営業時間（単位2）	平日 学校休業日	14 10	時 0	分から 18 16	時 45 00	分まで	送迎実施の有無	あり	なし						
支 援 内 容															
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・構造化された運動プログラムをたくさん提供することで、興味の数を増やし、生活に必要な運動能力を身に付けます。 ・忘れ物が減ったり、準備や片付けがスムーズにできるようになるなど、自分のことを自分でできるように支援していきます。 													
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・『児童発達支援』では、地域集団を利用している方の併用利用を想定し、少人数で達成感と見通しの持てる活動を組み合わせた「小集団運動療育支援」を軸に運営することで、お子様に合った運動療育を提供します。 ・『放課後等デイサービス』では、学校帰りや休日に安心して目的をもって過ごせる場を提供します。宿題のサポート、個別課題、集団活動などによる生活支援と社会性スキルのアップを狙った「学習」の時間、様々な体の使い方を体験できるサーキットトレーニングと机上での視知覚トレーニングで「動」と「静」を組み合わせることで学習効果を高める「総合」の時間、そして、毎月テーマをもってじっくり取り組む「運動」の時間の3つの枠組みでカリキュラムを組み、児童自身が理解して参加できる集団療育を提供します。 													
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・「書き取り」「なぞり絵」「かるた」「音読」「視知覚トレーニング教材」などを組み合わせた机上課題に取り組み、動から静の動きで、学習効果を高めます。 ・将来社会に出るときのことを考えて、就労や私生活に必要なPCスキルが身につけられるよう支援していきます。 													
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ひらがな・カタカナ・漢字の読み書き能力や語彙力を身につけられるように支援していきます。 ・簡単なルールのある遊びや集団での活動の時間をとることで、目的を共有する遊びの中で社会性スキルのアップや人とのかかわりを広げる機会を提供します。 													
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・運動プログラムを受けることで脳機能を向上させることで、指示が理解できるようになったり、活動が円滑に行えるように支援していきます。 ・集団での生活や活動が楽しいと感じられるように、共感できる心を育てていきます。 ・課題を通して質問や相談、報告できるように支援していきます。 													
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・その日のご様子を口頭でお伝えしたり、連絡ツールを使用して送信しています。 ・療育中のご様子をご見学いただくことができます。 ・定期的な面談以外でもご要望に応じて面談を行います。 				移行支援		進学などの意向をご本人、保護者様からお聞きし、情報を提供していきます。								
地域支援・地域連携	園や学校、福祉事業所、行政と連絡を取ったり、会議に参加し、情報共有していきます。				職員の質の向上		月別研修や各種委員会を開催し、こどもの特性に応じた対応や感染症、虐待防止、身体拘束禁止などの知識を深めます。								
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・調理レクや芋ほり、消防体験などの体験型レク ・鬼ごっこや運動会などの運動レク ・eスポーツ大会 														